オーブン・電子レンジ・トースター
の安全なご使用を！

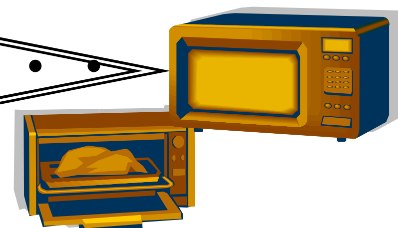
兵庫県消費者団体連絡協議会が実施した「生活用品の事故等に関するアンケート」では、「オーブン・電子レンジ・トースター」を使用中に、やけどをしたり、危険を感じたという事例が多くみられました。安全な使用のために、次の注意点を守りましょう。

加熱時に発火することも！

・庫内の食品を加熱しすぎたために発火したときは、すぐに運転を止め、ドアを開けないようにしましょう。ドアを開けると酸素が入り一気に炎が大きくなってしまいます。
・たまった油や食品カスが発火しないように、こまめに掃除しましょう。

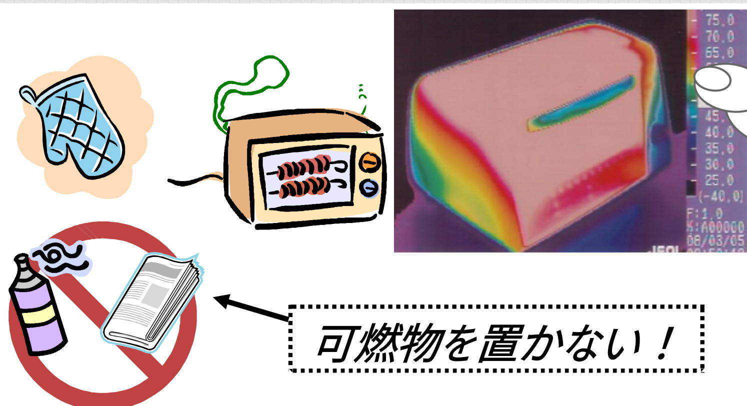


オーブン・オーブントースターでは・・・



高温部分に注意！

・本体や排気が意外に高温となっていることに気づきにくいものです。壁や棚とのすき間を十分あけましょう。やけどにも注意しましょう。
・ふきんなどの可燃物を、下に敷いたりすると延焼する恐れがあります。
・受け皿などの付属物についても、使用方法を取扱説明書で確認しましょう。
・特に天板は高温になるので注意しましょう。



当センターのテストでは･･･

オーブントースターはわずか5分の加熱で上半分が75℃以上になりました。
また、オーブンは庫内温度に近い高温の排気が出るので、気をつける必要があります。

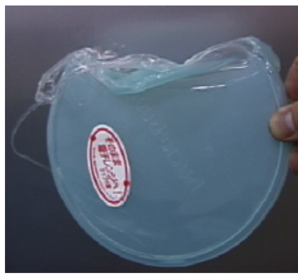
兵庫県立生活科学総合センター

電子レンジでは・・・

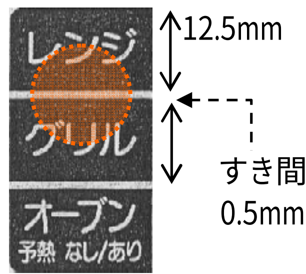


・取扱説明書で「使える容器」か「使えない容器」か、また容器の耐熱温度もよく確認しましょう。

・電子レンジのつもりが間違ってオーブンなどの加熱ボタンを押すことも考えられます。操作後の加熱状態も確認しましょう。



溶けたフタ



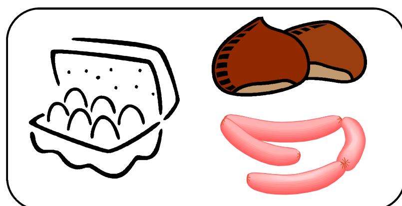
押し間違えた
操作ボタン

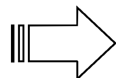
当センターのテストでは・・・

操作ボタンが小さい電気オーブンレンジで、２つのボタンの間を押してしまい、グリル加熱がはたらき容器のフタが溶けた事例がありました。

・卵やウインナなどの皮や固い膜のある食品は破裂のおそれがあるので、切ってから加熱しましょう。

・発煙や発火につながるので加熱のしすぎに注意しましょう。なお、牛乳などの液体は加熱しすぎると、振動が加わったとき急にふきあがる「突沸」が起こることがありますので、しばらく冷ましてから取り出しましょう。

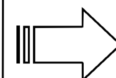




破裂

皮や固い膜のある食品は・・・





突沸

液体を加熱しすぎると・・・

・食品カスから発火しないように、こまめに庫内を掃除しましょう。

兵庫県立生活科学総合センター
〒650-0046 神戸市中央区港島中町４丁目２

協力：兵庫県消費者団体連絡協議会